

令和元年度 第1回燕市特別職報酬等審議会 会議録（要旨）

日 時：令和元年12月25日（水） 午後2時30分～午後4時45分

場 所：燕市役所庁舎 3階 会議室301

出席委員：池田弘委員、北村啓一委員、高野文夫委員、田野隆夫委員、長谷川亮太郎委員
廣田貴子委員、丸山朝子委員、山田敬委員、若林與一委員、渡辺治委員（10人）

欠席委員：なし

事務局：総務部長、議会事務局長、総務課長、企画財政課長、総務課事務局4人

報道機関：2社

傍聴者：なし

1 開 会

2 委嘱状の交付及び委員の紹介

3 市長あいさつ

4 燕市特別職報酬等審議会条例の説明

5 会長及び会長代理の選任

委員の互選により、会長に田野隆夫委員を選任。会長の指名により、会長代理に丸山朝子委員を選任。

（会長挨拶）

ただいま会長職を指名していただきました田野です。

皆様、お忙しい中ご参集くださり、ありがとうございます。もう何度か出ている委員の方もいますが、特別職、議員の報酬を決める大事な会議です。忌憚のないご意見を賜りたいと思いますので、審議にご協力賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

6 燕市特別職報酬等の諮問について

市長より田野会長へ諮問書を交付。その後、市長退室。

7 審 議

（1）資料の説明及び質疑応答

（事務局が資料を説明する）

（2）検 討

(会長)

それでは、事務局からの説明が終わりましたので、質疑や報酬に関するご意見を賜りたいと思います。最初に市長、副市長、教育長の給料についての審議をお願いします。

昨年度は、平成31年1月15日に報酬等審議会が開かれ、皆様からご意見を賜りまして、市長、副市長、教育長の特別職については2%の引き上げ、議員報酬については3%の引き上げの答申を行いました。この点も踏まえまして、皆様から審議を賜りたいと思います。

私は、これまでこの審議会に参画させていただきましたが、議員報酬も特別職の給料も引き上げてきた経緯があります。但し、報道にあるように来年度の政府の予算は102兆円ですが、都道府県や市町村に交付する地方交付税が大幅に減らされているようです。この交付税が減っている要因は、人口減なのか詳しいことは存じませんが、いずれにしても厳しい財政状況になってくるのではないかと思います。

以前は、他市と比較したときに燕市長の給料額が低いのではないかとということで、何年かに渡って引き上げ、人口規模に比例して県内7位まで、今回は6位となっておりますが改定してきた経緯があります。

それでは皆様からご意見をお願いします。

(委員)

私は、基本的に今回は据え置きを要望いたします。報道にありますとおり、県内では報酬額を下げている自治体もあります。また、昨年度、他市において報酬審議会での引き上げの答申があったものの、議会の承認を得られなかったという事例もあります。これまでは議員定数を減らす中で2%から3%を引き上げてきましたが、今回は収入減が見込まれる財政状況を踏まえ、据え置きを希望します。

(委員)

市長、副市長、教育長の給料は、これまでの6年間で計8%の引き上げを行ってきています。報道されているように県の財政状況から県の報酬額は下げるとのことですので、この辺りも少し踏まえて検討してはいかがかと思えます。

(会長)

ただ、新潟県の財政事情は有識者会議での答申があつてから、県民にとっては寝耳に水でした。県財政がひっ迫していることは、県民は誰も分からなかったことです。ましてや審議に加わっていた県議会議員は何も分からずにやっていたのでしようが、県議会議員としての役目を全く果たしていなかった状態が明らかになりました。それに対して現知事が議員の報酬を下げることに努力されています。最終段階は県職員まで給料を下げることを組合と交渉している真っ最中だと思います。ここには商工業の代表の方もいらっしゃいますが、燕商工会議所には帳面をつける記帳専任職員という職があり、7名程度いるのですが、基本給の7~8割を県から補助金をいただいています。そういった関係で、これから長期に

渡って緊縮財政を実施するということですので、商工行政に対しても相当な人件費補助が減るであろうと思います。それでもやっていけるよう、県の事務局へ人員配置、努力をしてほしいと事務局長に話をしているところです。

いずれにしても燕市の市議会は他市よりも進んでおり、定員削減も進んでいます。市議会は住民に近い機関ですから懸命にやりますが、県議会議員は全くそのような見解を持っていません。県は報酬を1割下げるくらいでお茶を濁していますが、県議会議員の定員を半分くらいにした方がよいと進言した覚えがあります。それくらいしていかないとだめだと思っています。

要は縮こまってばかりいてはだめだということで、例えば内閣総理大臣が私たち民間企業に「給料をどんどん上げなさい」と言い、私たちは戸惑っているのが現状です。私は給料を下げるのはよくないと基本的には思っています。別段、市長が不祥事を起こしたわけでもないですし、議員が逮捕されたわけでもありません。健全に一所懸命やっただけであり、特にふるさと納税により燕市の産業界は大きく潤っています。大手企業には恩恵は少ないかもしれませんが、燕市の企業は家庭の日用品をたくさん作っており、ふるさと納税の返戻品に採用されることで、全体的には低調気味ではありますが、産業界はふるさと納税で潤って大変喜んでいますが、また、個別の企業が返戻品に採用されているため、懸命に努力した結果、自社の売上に繋がっているのが現状です。これが燕市の大きな特徴だと言えます。こういった内容も踏まえてご審議を賜りたいと思っております。

(委員)

新潟県、新潟市、加茂市等は減額ということで報道が出ていますが、今ほど会長が言われたように、燕市の場合は市長のセールス等により、ふるさと納税は県内ナンバーワンですし、国道116号吉田バイパスは県の都市計画が決定されました。これは市長と陳情に回った経緯があり、ようやく花開いたということもあります。据え置きという意見もありますが、私は市長が本当によくされているのが分かります。3%ということはありませんが、少しでも引き上げてはどうかと思います。

(委員)

総務課資料1を見ていますが、平成18年からの状況で、その時々を経済状況を反映しているのだと思います。残念ながら今年に入ってから全く動いていない状況で、来年の決算は各社非常に厳しい決算になるかと思います。そう考えますと、何年間か報酬等を上げてきた経緯がありますので、市長も認識しているという姿勢を保つためにも、本年に関しては据え置きという形にした方がよいと思います。

また、財政調整基金も半分程度になってきているので、市としても何とかやっているという姿勢を見せるべきかと私は思います。

(委員)

私の意見は据え置きです。一つの見方としては、今まで毎年上げてきていますが、他市

を見るとずっと変わっていない市が多くあります。燕市は皆さんのご努力もあり、意識して上げてきているところもありますが、やはり今の世の中の状況を考えると、据え置きが妥当ではないかと考えます。

(委員)

今回は少し難しいと感じており、審議の材料となるのは、先ほどから出ている県をはじめとした財政状況かと思います。その一方で総務課資料10の市長の給料額が上位の新発田市とは43,900円の差があり、近づけていかなければならないとも思います。勘案すると、据え置きか1%アップというところなのかもしれませんが、まだ私の中では判断しきれていないので、皆さんの意見を聞きながら考えてみたいと思います。

(委員)

はい、私の意見としても据え置きと考えております。というのは、弊社のことで申し訳ないのですが、弊社についても、キャッシュレス化の波ですとか、そのような形で影響を受けています。今年度、下期のところでは既に従業員の構造改革を行いました。この先、弊社全体は「ものづくり」からどちらかというと「ソフト方面」へ舵を切っていくところがあります。国内ではグループの中でも厳しい見方をされています。燕市はものづくりの地域ですが、今後どうなっていくか分からないので、弊社については先を見据えた施策をとった形だと考えています。その辺りを含めて、私の考えとしては据え置きが妥当だと考えています。

(委員)

結論としては据え置きにすべきという意見です。理由としては、今年、県央地域においては景気が落ち込んでいるように思うところがあるからです。裁判所の破産件数が昨年に比べて増加しているような印象を受けています。そういった経済情勢にある中で、1%でも引き上げるのはためらうところがあります。また、新たな財政課題ということで資料にもあるように福祉の分野などにもう少しお金を回して欲しいという思いがあります。

(委員)

私も資料を眺めた段階で、据え置きと考え、今日は参画しています。理由としては、昨年、急に県がお金がないと言いだしたのがあったということと、県央地域の新聞に他市の報道が載っている内容を見て思うところがあります。私たちの団体に市長が来て挨拶をしてもらう中では、「ふるさと納税が県内トップです」と宣伝してくれて非常に良いことだと思って聞いています。先ほどの会長の話や陳情の話などを聞くと市長がすごく仕事をしている様子が分かります。また、女性の立場からすると今年の10月から保育料が無償化になって、結局は市に負担がくるわけです。私の家族も燕で地場産業の仕事をしていて、今月くらいから急に仕事がないと言っているのを聞きます。オリンピック景気というのは大昔

の1964年の東京オリンピックの話であり、今後どうなるかを考えると、あまり明るさは感じられません。ですので、今回、私は据え置きです。

(会長)

ありがとうございました。皆さんのご意見を承り、1%くらい上げた方がよいという意見と、据え置いた方がよいという大別して2つの意見だと思います。

皆さんも感じていると思いますが、県の財政赤字が大きなものだと思います。私が思うに、県の財政赤字には大きな原因が2つあります。一つは吉田・加茂に代表される県立病院の赤字で、大きく切迫しています。もう一つは起債です。前の前の知事が知事になった時に中越地震が起これ、山古志を復興する必要がありました。国の交付金が出たのですが、県としては、すぐにでも工事に取っかかって、起債を発行しなければなりません。当時の知事としては決して悪い政策ではありませんでした。

一番の問題は県立病院がなぜ赤字を垂れ流しているかということです。加茂の県立病院は、100億円もかけて建てられました。しかし、患者が来ているかというところでもなく、毎年多くの赤字を出すことが見込まれます。私としては、民間に売れるのであれば売った方がよいと考えます。

皆さんご存じのとおり、私立の病院は懸命に頑張っています。代表的なのは長岡市内の民間病院です。この病院は広大な敷地にも関わらず、朝からすごい数の車が停まっています。お客もたくさんいますから、経営的にもよいのでしょう。お金があるから腕のいい医者連れてこれますし、優秀な看護師も来るでしょう。そしてサービスもよく、薬は待たずに出てきて、会計もすぐ終わるなど、良い方向へ展開できていきます。これが民間企業というものです。県はお金を出して病院を建設したら、運営は民間に任せるべきで、そうしないともっと悲惨な状態になると思います。このように縮こまった考えではなく、もっと様々なことをやった方がいいと思います。

燕市は昨年、ふるさと納税額が16億円です。他市では数百万のところもあります。市長のやる気によって行政そのものが全く変わってきます。可もなく不可もなくといったようにやっていたのでは、まちはおかしくなってしまうものです。懸命に知恵を絞って行政運営をやっていたきたいので、私は答申で毎年ずっと給料を引き上げた方がよいと言いつけてきました。先ほど委員もお話しされましたが、実際、市内の産業界は良いところもありますが、現実には厳しいです。私は1%でも引き上げた方がよいと思っていますが、1%と据え置きで10名の委員皆さんから挙手をお願いしたいと思います。その前に、まだ意見を言いたい方がいましたら賜りたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、市長、副市長、教育長の給料について、皆さんは2通りの意見がありますので、据え置きと1%で挙手を賜りたいと思います。

据え置き —— 8名

(会長)

それでは皆様のご意見をもちまして、市長、副市長、教育長の給料について、今年に限っては据え置きということに決定したいと思います。ありがとうございました。

続きまして、議員報酬に移らせていただきます。資料4と資料9をご覧ください。それでは先ほどと同様に皆さんからご意見賜りたいと思います。上位の三条市と差が縮んできたといっても大きく開きがあるということ、それから全国規模で見た場合、下位になっています。

(委員)

昨年の報酬審議会で付帯意見があり、今後さらなる活発な議員活動により報酬の引き上げに至ったが、昨年から今年にかけての活動で特筆すべき新たな成果や活動において、アウトプットする点があればご紹介いただきたいです。

(議会事務局長)

各常任委員会や議会運営委員会が毎年行政視察をさせてもらっています。議会運営委員会が岐阜県や愛知県に行き、議会改革について視察して参りました。それを踏まえて、議会運営委員会を含めて、燕市でどのような議会改革をするか、協議を始めている状況です。

(委員)

まだ始まったばかりで答えは出ていないということでしょうか。

(議会事務局長)

10月の終わりに視察に行き、まだ検討を始めた段階です。

(委員)

柏崎市は原発の関係で議員報酬が高くなっているのではないかと思います。燕市の三役の給料を見ると、県内で7番目になっているので、私は据え置きでよいと思います。

(会長)

なぜここまで他市と差が開いたかと言うと、過去に他市が報酬を引き上げたのに対し、燕市は議員報酬を据え置きや引き下げたことがあるためです。そのため、昨年までのように3%や4%のように急激に上げる必要はありませんが、1%くらいは引き上げてはいかがと思っています。

(委員)

昨年度3%上げているので、私は据え置きでお願いします。隣の三条市と比べ、議員活動をするにあたり、市の面積も違うため、議員活動するにも手間もガソリン代も違うためです。

(会長)

前回の選挙で2割議員数が減っているため、市民1人当たりの議員報酬に対する負担割合が2割上がっても負担額は変わりません。ただ、市議会議員の定数削減の余地はまだあると聞いており、私も定数削減は進めていくべきだと話しています。前回の選挙で新人議員や若手議員が多く立候補され、議会が活発になったように、今後も優秀な議員が何人でも出てきてほしいと思っています。

(委員)

ある議員は、燕市は議員定数をもう少し減らしても問題ないと言っています。また報酬も上げなくてもよいとも聞いています。

(会長)

今までは議員報酬が低かったため、他市町村に追いつくために、ここ数年で大幅に上がっているように感じるかもしれません。議長、副議長よりも議員の報酬はもう少し上げるべきだと考えます。

(会長)

ちなみに、加茂市は議員発議で報酬を下げるようになったそうです。市長の報酬も下がります。

据え置きもひとつの考えではありますが、三役と議員では、圧倒的に拘束時間や仕事量が違うため、三役と議員の報酬に差があるのは悪いとは思いません。しかし、少しでも議員の報酬を上げて三条市に近づければと思っています。

(委員)

市内の一般の工場でもこれだけの給料をもらうのは難しいことだと思います。議員は毎日の仕事ではないので、金額は妥当だと思います。

(委員)

民間の感覚で言わせていただくと、前回、報酬を上げた際に付帯意見として、活発にしてほしいと期待値を込めて上げていっていますが、結果がよく分からない状況で、引き上げるというのは難しいので、据え置きが妥当だと思います。

(会長)

確かに議員活動は外から見えにくいと言えます。議員の活動は議会報に入っており、議会報が送られてきたときに、議会の発言内容も確認することができます。若手の議員も増えてきて、議会が活発になっていると思うのですが、事務局としてはいかがでしょうか。

(議会事務局長)

新人議員が3人入り、女性の議員も入ったので、意見的には活発になっていると思います。

(会長)

市議会議員に女性が増えると、さらに議会が活発になると思います。

(委員)

女性の議員が増えるのは大いに賛成です。私たちの企業でも従業員比率の40%程度が女性です。女性が頑張ってくれているので、女性の責任者を増やしたいと思い、様々な施策をしています。女性が活躍する世の中は普通ですので、是非増えてほしいです。

(委員)

私の意見としましては、若い人たちに入ってもらって、仕事の兼業ではなく、議員報酬できちんと食べていけるということになれば、新しい人がさらに入ってくるのだと思います。そういった観点からすれば、議員に関しては何らかの引き上げがよいのではないかと思います。

(委員)

新人議員が3人入ってきて1%でも引き上げて、付帯意見として、例えば「議会改革の向性を示してもらいたい」ということで、数パーセントの引き上げがよいのではないのかと思います。

(会長)

他に皆さんご意見ありましたらどうぞ。

(委員)

先ほどから出ている、県や他市の給料面からすれば、市長・副市長・教育長と議員ではパーセンテージが違うので、そういった見方をすれば特別職と足を揃えるのではなくて、若干でも、1%でも上げるのがよいのではないのでしょうか。

(委員)

三条市との乖離を議員の方々がどの程度意識しているか分かりませんが、新しい改革の兆しが見えていたり、若い方が入ってくることを期待すれば、わずかながらでも、1%でも上げてよいのではないかと思います。

(委員)

先ほどの市長等の給料に関しては据え置きが相当と述べました。その状況は議員報酬にも当てはまると思うので、議員活動の実態が見えていない中で、上げる理由がないのが率直な意見です。若い議員の方が入ってきて、今後活性していく途中かもしれませんが、この辺りで喝を入れる意味で据え置きにし、今後さらに頑張ってもらうのもよいのではないかと思います。

(委員)

会長の話を聞きつつ、議員報酬のことを考えていますが、若い議員がトップ当選し、他の方も上位で当選しています。今はまだ下駄を履かせてもらっている状態かもしれないので、もう少し議員活動をやってもらってから考えたいと思うのと、若い女性議員が入ってきて活性化されていると感じるので頑張ってもらいたいが、やはりもう少し活動内容を見てから上げる方向に向かってもよいのではないかと思います。ですから私は据え置きです。

(会長)

確かに議員活動は見えにくいものです。自分が支持した議員、地域から出馬するから応援した議員であれば、市政報告会を聞けば親しみも湧くし、ちゃんと仕事しているのが分かります。しかし、選挙に関心がなく、誰でもよくて若そうな人を投票すればいいや、といった感じであれば、議員活動は見えにくいものです。マスコミに出る機会も少ないですからそうでしょう。ただ、私は仕事柄、議員の方とコンタクトを取って話をする機会がありますが、以前に比べると「議員らしい議員」が増えてきたのがよく分かります。分かるからこそ、何とか若手の人たちが飯を食っていけるようにするためには、少しでも報酬を上げて、頑張っていってほしいと思います。

合併の時の議員報酬は28万円程度で、色々引かれていくと手取りで20万円に満たない状態でした。合併当時からみると、6万円程度上がって今は34万円になりました。私としては付帯事項を据えた上で、若手議員が一人でも二人でも増えるように期待して、議員報酬を1%でも上げたく、皆さんからご賛同賜りたいのです。

現在、据え置きと1%引き上げの意見が出ています。他にご意見が無ければ採決させていただきます。よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

(委員)

すみませんが、事務局にもう一つ聞いてよいでしょうか。資料に会議事件数という項目があり、今年は議案の可決が88件(11月末時点)と記載がありますが、例えば前年同時期対比で増えている、減っているとか、昨年より中身が濃くなっているなど、何かエビデンスはありませんか。単年度の報告をいただくと、去年からのプラスが何なのかよく分かりませんので、その辺りを紹介し、PRしていくのがよいのではないのでしょうか。現段階では上げる要素がないと思います。

(議会事務局長)

資料に関しては、来年度に向けて作り変えたいと思います。執行部からの提案が多いため、議案に対する審議は全員協議会の中で行いますが、議案以外の協議事項は議員協議会や議員懇談会で行います。これらは昨年より若干増えていると言えます。そういった内容が分かるような資料としていきます。

(委員)

今、数字で見えるような資料があれば、昨年に比べて活発になったかが明確に分かると
思います。前年同期比でどれくらいか示せませんか。

(議会事務局長)

平成30年度の会期日数は64日、今年度の会期日数は、今回の12月定例会の11日間を
加えて61日間となります。会期は昨年より多少減っていることとなります。

(委員)

議案数はいかがでしょうか。もしくは検討、提案数など、この項目が増えていて「活発
になっている」と見ることができるデータはありますか。

(総務部長)

議案数については、単純に比較することは難しいと考えます。なぜなら、提案は市から
提案する議案、例えば公共施設の計画など重要な計画を議会に投げかけ、議論してもらう
ことも多いからです。

(委員)

それであれば、人数が減っているので、一人当たりの件数に換算すれば増えているなど、
言っていただければ議員の方の頑張りがみえると思います。

(議会事務局長)

例えば法律の改正があった場合は、伴って市の条例の改正が発生するため、一概に比較
することは難しいと言えます。

(委員)

議員の皆さんが感覚的に頑張っていることが数字で見えると良かったのですが、それが
今、示せないのであれば残念に思います。

(会長)

確かに議員活動を数字に表すというのは、市議会議員に限らず難しいことだと思います。
議員数が2割減るとするのは、議員が当選するための活動範囲は当然広がってくることに
なります。なぜなら、当選するための票数が300から500票程度であれば、友人や同級生
などに声を掛ければ当選することができると思いますが、議員数が減ってきて活動範囲が
広域になれば、相当な努力をしなければ当選するのは非常に難しいと思います。それだけ
に、人数が減るとするのは、何期も議員を続けるためには必然的に活動量が増え、領域が
広がってくるのが当たり前だと思っています。

議員提案について、私が聞いた中では、市の夏まつりの最後に、市庁舎の近くで花火が
上がる際、市庁舎の4階で行われる市主催の婚活事業が挙げられます。募集人数は男女各

25名程度にも関わらず、応募数が多く相当な倍率になっています。抽選で選ばれるのですが、年々評判が良くなってきていて、既に4組ほど結婚していると聞いています。そういった意味では、議員による提案も成果になっていると言えます。

(委員)

先ほどの委員の発言で数字が出るとよいと話がありました。一般質問の回数が、昨年よりも増えているのであれば、そう言えるのではないのでしょうか。私の知り合いの議員の方は一般質問するために、相当な時間をかけて調べ上げ、文章を書いているわけで、その質問の回数が数字として出るのではないかと思います、どのようになっていますか。

(議会事務局長)

昨年の一般質問者数で、第1回定例会は17人、第2回は19人、第3回は19人。この時までは定数は24人でした。次の第4回は17人です。今回の第4回は16人でした。ちなみに議長と監査委員は、一般質問はできません。また、2人の議員が会期中に入院しており、一般質問ができない状況でした。

(会長)

議員活動は、一般質問をしっかりするのが大事なことだと思います。8割方の議員が質問するということは、質問するために勉強して議会に臨まなければいけません。一般質問の回数は議員活動を図る一つのバロメーターになり得ると思います。

それでは、皆さんの挙手で判断してもよろしいでしょうか。

〈全員より「はい」という声あり。〉

(会長)

それでは、10人の皆様から議員報酬の答申案について、採決をとりたいと思います。据え置きと1%の引き上げの2つに分けて挙手を賜りたいと思います。

据え置き —— 5名
1%引き上げ —— 5名

(会長)

5対5となりましたが、どうしたらよろしいでしょうか。

(委員)

最後は会長の意見に従うべきでしょう。

(会長)

5対5ですので、皆さんの意見に従いますが、会長の意見を尊重するというところでよろし

いでしょうか。

〈委員より「はい」という声あり。〉

会長)

その代わりに議員には「頑張ってほしい」と伝え、来年度からは一般質問等議員活動に関わるものをデータに取り、だめであれば引き下げの可能性もあることも踏まえて答申させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〈全員より「はい」という声あり。〉

(会長)

それでは、議員報酬に関しては1%の引き上げで答申させていただきたいと思います。

《休憩》

《再開》

(総務課長)

それでは、答申書の文案を読み上げさせていただきますので、最終的なご確認をよろしくお願いたします。

(事務局が答申案を読み上げる)

(総務課長)

答申案はこれでよろしいでしょうか。

〈全員より「はい」という声あり。〉

◎ 答 申

(会長が市長に答申書を読み上げる)

令和元年12月25日

燕市長 鈴木 力 様

燕市特別職報酬等審議会
会長 田野 隆 夫

燕市特別職報酬等の答申について

令和元年12月25日付けで諮問された市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議員報酬の額について、本審議会は、慎重審議を行った結果、次のとおり答申します。

(1) 市長、副市長及び教育長の給料の額について

現行の額に据え置くことが適当である。

(2) 議員報酬の額について

1%の引き上げが適当である。

議長 440,900円

副議長 365,700円

議員 347,800円

付帯意見

議会改革の方向性を示すことを期待し、議員報酬を引き上げることとする。

(答申書を市長に手渡す)

8 閉 会